



落合中だより

真庭市立落合中学校

《校訓》 明るく・楽しく・美しく

令和7年1月7日発行 No.13

* 3学期がスタート、良い年にしよう!! *

明けましておめでとうございます。令和7年（2025年）がスタートしました。夢と希望に満ちた新しい年を迎えたことと思います。「一年の計は元旦にあり」と言われますが、皆さんはどのような決意を持ちましたか。勉強や進路、部活動のこと等それぞれあると思いますが、新年の決意が実行できるように一日一日を大切に頑張ってください。

さて、今年の干支（えと）は巳（み・へび）年です。「巳」という字には、たくましい生命力の象徴という意味があるそうです。また、医療・治療・再生のシンボルや運気を上げる縁起物とも言われます。皆さんも今年1年を健康に過ごし、たくましく飛躍する年にしてください。

3年生にとっては進学と卒業に向けた大切な3学期です。皆が希望の進学先に合格できるように、健康に気を付けて全力で頑張ってください。入試という大きな試練に向かっていく中で不安もあると思いますが、「絶対に乗り越えられる。」という強い気持ちで、今まで頑張ってきた自分を信じて臨んでください。

○生徒会役員選挙

11月22日に生徒会執行部、12月13日に専門委員長選挙が行われ、新しい生徒会役員が選ばれました。立ち合い演説会では候補者それぞれが自分の言葉で「もっと良い学校にしていきたい。」という思いを「校則の見直し」や「あいさつ運動」等の具体的な取り組みを交えながら、一生懸命に訴えました。真剣な横顔からは次代の落合中生徒会を引っ張っていかこうとするやる気や意欲が感じられ、頼もしく思いました。皆さんの手で落合中学校をどんどん盛り上げていってください。そして、生徒会は生徒全員が主役の組織です。選んだ人にも責任があります。しっかりと役員を支え協力していきましょう。



○学校運営協議会

12月17日（火）、第3回学校運営協議会が開かれました。今回は初めての企画で、生徒会執行部・専門委員長にも参加してもらい「落合・真庭の魅力づくり」について懇談会形式で行いました。

～以下、段堂先生の記録より～

運営協議会のメンバーと生徒代表の懇談会がありました。最初にアイスブレイクをしてから協議に入ったので、和やかな雰囲気で行うことができました。参加者で落合地区の魅力や課題について洗い出した後、課題解決の方法について意見を出し合っていました。生徒にとってはこの形式の授業は普段からよく行っているのでも、よく考え、自分の意見を話すことができました。短い時間の協議だったので、意見を固めるところまでは行きつきませんでした。良い時間を過ごすことができました。運営協議会のメンバーの方からは、「しっかり自分の言葉で話している。」「学校で学んだことがよく身についている。」「人の言動に対して自然に『ありがとう』が言えている。」などの感想をいただきました。生徒たちも大人と話すことで新しい考えが広がったと話していました。



【遅くなりましたが、今年度の委員の皆さんを紹介します。】

松岡 祥和	落合人権センター館長	谷口 護	主任児童委員
池本 正行	天津地区ボランティア代表	藤井 由紀子	主任児童委員
武村 一夫	真庭市消防団落合方面隊本部長	高田 雅夫	地域学校協働活動推進員
妹尾 直之	落合地域青少年育成協議会環境指導部長	豊福 政則	PTA 副会長
田中 順子	主任児童委員	奥谷 和樹	PTA 副会長



○3年SDGs学習会

3年生が理科と家庭科の授業の一環でSDGsについて学習しました。12月17日には真庭市環境課の芦田さんからバイオマス発電やバイオ液肥施設等、市の取り組みの説明を受けました。そして、18日には完成したばかりの「市くらしの循環センター」を見学に行きました。自分たちの住む町のことを知る貴重な体験になりました。関係の皆様ありがとうございました。

